

安心できる「基地」としての児童自立支援施設

自立支援課長 荒木 宏治

おおいそ学園は来年12月に120周年を迎える。私はその歴史あるおおいそ学園の自立支援課長の職をこの4月に拝命した。

私が赴任後、最初に入所してきたA君と先日面接する機会があった。彼は家裁の審判で少年鑑別所から入所してきただけあって、書面上では虞犯行為が並べられ、久々の不良少年の入所で構えていた。入所式では体幹がないのか体をくねくねし、すかした感じで大人を見つめ、落ち着かないので姿勢を正すよう伝えると、ムツとした表情を見せた。

今回の面接で、入所の際に「体を整えるよう伝えたことを覚えているか。」と確認すると、覚えていると本児は答えた。

今日の本児は、しっかり前を見て受け答えができていることを褒めると、言葉こそ発しなかったが、どうだと言わんばかりに、自慢げな表情を見せた。その面接中は体も動かさず私と向き合えることができた。

また、表情も入所時より柔らかくなり、入所際に目標とした課題の解決について振り返ってもらおうと、「退所してから元に戻らないよう頑張る」ことや、保護者に対しても「バイク盗、無銭飲食、捕まって留置場に居た時会いに来てくれ迷惑をかけたと感じた。」と話してくれた。

さらに担当の児童相談所の児童福祉司に対しても「1年間迷惑をかけた。いろんな

面で支えてくれてありがたいと思う。」

学校についても「学園に入るまではあまり学校に行っていなかったが、今は勉強が楽しい。少人数で勉強に集中できる環境で教え方が良く、社会とか得意なものは集中して取り組める。英語も苦手だが頑張っている。授業も反抗せず素直に頑張っている。」と自分なりの表現で思いを伝えることができ、学園のルール、自分の課題・将来の方向性を考えながら過ごさせていることが伺われた。

このように保護者、児相、分校、学園の職員に感謝の言葉を言えるまでになったことに、環境を整えればまだまだ伸びていくことが伺えた。

この児童はまだ入所後、日は浅いものの安全安心の環境を提供し、育てなおしをする中で、子どもらしさを取り戻し、特定の大人との信頼関係が築けるようになった。児童自立支援施設の役割として、今後も児童の「安全基地」としての役割を担っていきたいと思う。



行事特集①～サマーキャンプ～

桂寮

桂寮は横須賀市の和田長浜海水浴場に行きました。釣りや波乗りなど各々が海を満喫していました。自然を守ろうと出発前に話をしていたら、各自で遊んでいる最中にゴミ拾いをしていました。実は、出発時土砂降りで、天気予報の晴れを信じて出発したキャンプでしたが、「思い出はいつの日も雨」とバスの中でかかっていた音楽の歌詞通り良い思い出となりました。
(桂寮 松田)



竹寮

竹寮は、神奈川県立秦野戸川公園にてバーベキューを楽しみました。丹沢の山々に囲まれた素晴らしい景観の中で、たくさんのお肉やお菓子を食べて、公園の中心にある水無川（みずなしかわ）で川遊びを楽しみました。丹沢の山々から流れている透明度の高い川で、子どもたちはおもいっきりはしゃいで水遊びを楽しんでいました。全身びしょりになりながらも、笑顔で楽しんでいる様子が印象的でした。
(竹寮 柏木)

梅寮

梅寮は足柄上郡の寄(やどりき)自然休暇村で、マス釣り、BBQ、川遊びを楽しみました。慣れない釣りに戸惑う姿もありましたが、BBQで焼いたたくさんの肉とともに、自分たちで釣った魚をおいしそうに食べていました。川遊びでは、岩場で魚を捕まえようとする子、川流れを楽しむ子、バシャバシャと水をかけ合う子など、みな笑顔を見せながら、一日中はしゃいでおり、子どもたちにとって普段できない良い体験になりました。
(梅寮 白石)



行事特集②～関東少年野球大会～

6月10日、6月30日の2日間にわたり関東少年野球大会が開催されました。昨年度は優勝しており、今年度は連覇を目指して臨みました。2日間で3試合行ない、初戦は7-0、準決勝は14-12で勝てましたが、決勝は0-8という結果で準優勝でした。両日とも気温が高く、準決勝では乱打戦で死闘を繰り広げ勝利しましたが、体力が消耗した状態で決勝に臨み、本来の力が出せずに敗戦となってしまいました。そんな状況ながらも一人ひとりが諦めず、全力でプレーをしていました。最後まで諦めずやり遂げること、チームワークなど今大会を通じていろいろなことを学び、それぞれの成長につながられたと思います。応援してくださった皆様、ありがとうございました。
(梅寮 田中)



～水泳部 活動紹介～

今年度も野球部の活動と並行して水泳部が始まりました。児童の泳力に応じて「初級」「中級」「上級」3つのクラスに分け、練習メニューを決めて活動を行っています。児童にはチャレンジしたい泳法や「平泳ぎを50m泳げるようになる」等の具体的な目標を設定して取り組み、いろいろな泳法を習得してもらいたいと考えています。

今年度はコロナの影響で中止となっていた関東少年水泳大会や県児童福祉施設水泳大会が開催されるため、頑張りの集大成を思う存分発揮し、心に残る熱い夏にして欲しいです。
(梅寮 森野)



～高等部 活動紹介～

広大な敷地の環境美化、農作物収穫のための畑づくりを中卒児童3名と職業指導員1名で月曜日から金曜日の日中に行っています。

週1回農事指導員、週2回程度職員の応援がありますが、実質3名で対応するには手に余る程の作業量です。そこに季節ものの収穫や仕込み（梅干し作り等）も加わり慌ただしい中、子どもたちは学園からの自立、ひいては社会から必要とされる人を目指し、日々汗を流しながら成長しています。

（高等部 鶴岡）



～分校 豆腐・竹細工づくり～

7月15日に総合学習で「豆腐づくり・箸づくり」を行いました。豆腐づくりは大豆をミキサーで細かくするところからのスタートでした。ただの豆粒だった大豆が次々に姿を変え、いつも食べている豆腐になっていく行程に子どもたちは驚きながら活動しました。箸づくりは、学園に生育している竹からやすりを使って箸を削り出しました。なかなか根気のある活動でしたが、自分のイメージを形にしていくことを楽しみながら活動する姿が見られました。最後は教室に戻り、自分で作った箸で手作り豆腐を食べました。みんな満足げに食していました。（分校 長谷川教諭）



【大会結果発表】

6/10, 20 関東少年野球大会 準優勝
8/3 神児研野球大会 8位

【編集後記】

今号はたくさんの夏休みの活動を掲載することができました。子どもたちの元気な姿が伝われば幸いです。（広報委員会一同）

お知らせ 令和4年11月23日（祝）に開催を予定していましたが「第41回収穫祭」は、今般の新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、中止とさせていただきます。